

令和5年度取組進捗状況報告に対する意見と各 WG の考え方

令和5年度に首長懇談会、共生ビジョン懇談会、職員全体研修において、定住自立圏の取組に対する意見を聴取した結果及び意見を踏まえ、以下の内容について令和6年度中に各ワーキンググループで検討を行いました。

ワーキンググループ	連携事業に対する主な意見 (■：首長懇談会 ◆：共生ビジョン懇談会 ▼：職員全体研修) ※令和5年度に意見があったもののみ記載 ※検討不要なものは括弧書き	令和6年度検討事項
保健・医療	◆日本薬科大学や日本女子体育大学と連携し、「健康」というテーマに取り組んではいかがか。 (◆救急車の数を増やすなど、救急医療体制の充実を図れないか。※会議中に医師会より県を越えた連携について回答いただいたため、検討の必要なし)	健康づくりの取組について
障害者福祉	◆障害者に対する予防的な手当についても取り組んではいかがか。	障害者に対する予防的な取組について
発達教育支援	令和5年度は意見なし	
在宅医療・介護連携	令和5年度は意見なし	
介護サービス	◆介護認定審査を児玉郡で行ってはいかがか。	認定審査の広域化について
農業振興	◆大学と連携して産業振興に取り組んではいかがか。	大学との連携について
広域観光	◆「広域観光推進事業」の内容が抽象的なので、分かりやすく記載してほしい。	
消費者相談	令和5年度は意見なし	

文化財	◆文化財はその地域の財産であって、先人を敬うものなので、地域で守っていくというのをぜひ進めて欲しい。	
公共交通	（◆ライドシェアの検討ができないか。※会議中に検討は困難と回答したため、回答の必要なし） ▼4市町が連携をして児玉郡市内の観光名所をつなぐ公共交通機関があればいいなと思った。	圏域内公共交通制度の連携について（進捗確認）
交通インフラ	令和5年度は意見なし	
人材育成	◆大学の他、民間企業とも連携してはいかがか。	民間企業との連携について
職員研修	◆大学の他、民間企業とも連携してはいかがか。 ▼他市町村の現場視察、担当部署ごとの課題会議を行ってはいかがか（複数意見あり）	民間企業との連携について
地方創生	（その他） ◆定住自立圏の取組をもっと住民に知ってもらう必要があるのではないか。	
現在取り組んでいない分野		
「定住自立圏構想推進要綱」における「定住自立圏形成協定に規定する事項」のうち、現在取り組んでいない分野	【子育て支援】 ◆子ども食堂や塾に行けないこどもたちに向けたボランティア活動等、広くこどもたちを地域で育てる取り組みを行ってはいかがか。 【教育】 ■地域活性化企業人制度を活用して、部活動の地域移行に取り組んではいかがか。 【森林（産業振興）】 ■森林整備と併せてハイキングコースを整備してはいかがか。 ■集落支援員制度を活用して、担い手不足解消に取り組んではいかがか。	

※教育、土地利用、環境、防災、ICT インフラ整備、地域内外の住民との交流・移住促進、宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

【ICT インフラ整備】

- ▼Logo チャットの活用による迅速な郡市内連携
- ▼デジタル人材の育成

【その他】

- ▼公共施設の相互利用や統廃合

2. 各 WG、担当部局の考え方

ワーキンググループ	提出された意見に対する WG の考え方
保健・医療	健康づくりに関しましては、成人の健康の保持・増進のため、圏域市町それぞれの状況に合わせ、健康教育、相談事業を実施しております。大学との連携につきまして、今後の参考とさせていただきます。
障害者福祉	障害の有無にかかわらず、その人らしい暮らしのできる共生社会の実現に向けた施策に取り組んでいきます。
介護サービス	認定業務を広域化することで、業務の効率化、児玉郡内での審査判定の公平性が保たれるというメリットが考えられる一方、認定審査とそれ以外の部分との連携が取りにくくなること、調査員や認定審査会委員の移動の負担が増えるなどの課題が考えられます。現時点では広域化は困難と考えます。
農業振興	圏域市町それぞれで大学や大学生との取り組みを行っているため、現行の取り組みを継続することで、連携事業を展開していきます。
公共交通	今後、本庄市、上里町、神川町でデマンドバスが運行することになるため、路線バス神泉線の維持・確保に向けた協議の中で、デマンドバスについて行政界へのバス停設置について情報共有を図り、検討を進めています。
人材育成	令和 6 年度の子ども大学ほんじょうでは、新たに高橋ソース株式会社と埼玉工業大学の方を講師に招き、子どもの知的好奇心を刺激する新しい講義を行いました。来年度も郡内市町で連携し、郡内及び郡外の近隣にある民間企業、教育機関等と連絡・調整をしながら事業を実施していきます。
職員研修	職員研修については、1 市 3 町で構成する児玉郡市広域市町村圏組合主催の研修を通して実践していきます。担当国会議を通じて、共通課題の認識や民間企業との連携（講師の選定）を協議していきます。